

名も知らぬ恩師との再会

東京コンピュータサービス株式会社
フィールドサービス事業本部 姫路支店
第二CS課

大 西 一 也

もう20年以上前のことですが、高校生の頃の話です。

その日は授業で課題のゲーム作成を、友達とあーでも無い、こーでも無いと言いながら、していました。

私の席の近くには【故障中】と貼紙されて動かなくなったパソコンが1台放置しており、友達がそれを見つけて「先生～動かなくなったパソコンどうするんですか～？」と質問すると「もちろん修理してまた使うよ」と言われました。

その会話を聞いていた私が疑問に思っ、「修理は先生がするんですか？」と質問すると、「無理だよ～。パソコン修理のプロが直してくれるんだよ」と教えてくれました。

結局パソコン修理のプロがどんな人なのか分からないまま2、3日がたったある日のこと、先生と作業服を着た人がパソコン室に入ってきました。まだ若く見える作業員の方はカッコイイ眼鏡をかけていて、いかにもパソコンに詳しくそうな風貌で、私は「この人が修理のプロだ！」とすぐにわかりました。

元々パソコンの構造に非常に興味があった私は授業中でしたが、「修理ってどんな感じするんだろう？」と気になって気になって仕方がなく、全く落ち着きませんでした。

そして休み時間になったので、早速、先生に「なんとか修理を横で見学させてもらうことはできませんか？」と切にお願いしたとこ

ろ、先生は作業員の方に申し訳なさそうに相談していましたが、嫌な顔ひとつせず、見学を快く引き受けてくれました。

すぐに真横をキープして、ちょっと迷惑かなと思いつつも間近でガン見していましたが、当然何をしているのか分からず、私の頭の中はチンプンカンプン???

部品を交換していたのですが、交換していた部品が何なのか分からず、作業中に矢継ぎ早に質問攻めにしてしまいました。

それでも作業員の方は嫌な顔ひとつせず、パソコンの仕組みや部品の構成などを詳しく教えてくれました。

まだ高校生の私に対して、質問にひとつひとつ丁寧な説明をして頂き、とても嬉しかったのを今でも鮮明に覚えています。

ほどなくしてパソコンの修理が終わり、修理内容を先生に説明して帰られました。

その姿にまるでヒーローを見るかのように憧れて、自分も同じような仕事に就きたいと思った瞬間でした。

私はもう、いてもたってもいられなくなり、すぐに先生にあのような仕事に就きたいと相談して、CEというエンジニアの事を知り、CEを目指そうとその日に決心しました。

その後、私は必死に勉強し、夢を叶えて20数年CEの仕事をしています。

現在仕事をしていく中で大変なことや辛いこと、思うようにいかないこと等、たくさん

壁にぶつかることがあります、お客様から感謝の声を頂いたり笑顔を見ると、あの日私が感じたことをお客様に同じように感じて頂いているのかなと思い、C Eを続けられていて本当に良かったと思います。

あの日の出来事が、私のC Eとしての基礎となっているのは間違いありません。

あの作業員の方は私にとってかけがえのない恩師です！

そして私がC Eとして10数年のキャリアを積んで油がこってりとのってきた頃、ひょんなことから恩師は私の会社の先輩だと分か

り、こんなことがあるのかと、まさに青天の霹靂で、不思議な縁にただただ驚くばかり。

その時にはもう恩師は別部門に移りC Eは引退していましたが、何度かお会いする機会が有り、お互いあの日のことや、昔話に花を咲かせ、お酒を酌み交わしたのは言うまでもありません。本当に美味しいお酒でした。

仕事についてもさすが大ベテランと唸るような、貴重なアドバイスなどを頂き今後の糧となりました。いつか恩師を超えるC Eになれるよう、これからも日々精進していきます！